

「プラスチック問題解決のためのキャッチフレーズ及びアイデア募集」  
結果と活用について

1. 応募状況と募集の周知状況 .....	1
2. 応募者データ .....	4
3. キャッチフレーズの審査結果について .....	6
4. キャッチフレーズの活用について .....	7
5. 募集したアイデアの概要 .....	8
6. アイデアの活用について .....	15
(参考) 募集したアイデア一覧 .....	16

## 1. 応募状況と募集の周知状況

募集期間：令和4（2022）年7月1日（金）～令和4年（2022）年8月1日（月）

表1 キャッチフレーズ及びアイデアの応募作品数と応募者数

	キャッチフレーズ	アイデア
応募作品数	1220点 (同一投稿者による同一作品 投稿3点を含む)	557点
応募者数	621名	393名

募集時には、県 HP 内に募集ページを作成するとともに、インターネットの公募まとめサイト(2件)や県広報課の SNS アカウントでの投稿を通じて、全国に周知を行った。県内向けの周知として、沖縄県地域環境センター情報誌「島エコだより」および県内新聞社(2社)の本紙・副読紙への投稿を行った。

また、海浜清掃活動団体などのボランティア、NPO 法人に対してはメールで募集ページの紹介を行った。



図1 県ホームページの募集ページ（左）と県広報課 SNS での投稿（右）

## 沖縄県からの情報

### プラスチック問題の解決に向けてキャッチフリーズを募集しています！

沖縄県は、世界に誇れる自然環境を有している一方、プラスチックごみによる自然環境への影響が大きな問題となっています。後世に豊かな自然環境、世界に誇れる「ちゅら島沖縄」を引き継ぐことは、私たちの世代に課せられた重大な責務であることから、沖縄県では、「プラスチック問題に関する万国津梁会議」を開催し、プラスチック問題の解決に向けた方策について、有識者から意見をいただいているところです。

今回、県民全体でプラスチック問題を考え、行動するきっかけとするために、「キャッチフリーズ」を皆様から募集することとしました。また、プラスチック問題を解決するための「アイデア」も同時に募集します。

多くの皆様のご応募をお待ちしています。

**★募集作品★** 部門：キャッチフリーズ / プラスチック問題解決や資源循環をイメージさせるもの  
部門：アイデア / プラスチック問題解決や資源循環に関するアイデア

**★賞状★** キャッチフリーズ 最優秀賞 1点 / 20,000円相当の商品券を授与します。

**★応募方法★** 応募フォームより必要事項をご記入しご応募ください。  
随時部門（キャッチフリーズ/アイデア）に1人で何点でも応募可能  
作品の趣意（込めた思いなど）を記載すること

**★募集期間★** 令和4年7月1日（金）～令和4年8月1日（月）必着

※ キャッチフリーズ及びアイデアの募集要項は、沖縄県地域環境センターのホームページに掲載しています。  
<https://www.pref.okinawa.go.jp/ste/okiteko/seri/06p06.html>




山間部までたどり着いたプラスチックごみ

サンゴの海を漂うプラスチックごみ

図2 沖縄県地域環境センター情報誌「島エコだより」No. 06 への投稿

さらに、募集の告知と応募を呼び掛けるため、チラシとポスターを製作し、県内の高校や図書館へ配布した。



**プラスチック問題解決のための  
キャッチフリーズ及びアイデア募集**

応募締切：2022年8月1日(月)

県民全体でプラスチック問題を考え、行動するきっかけとするため、印象的で効果的な「キャッチフリーズ」も募集します！また、プラスチック問題を解決するための「アイデア」も広く募集します。皆様のご応募、お待ちしております！

**応募資格**  
※どなたでも応募できます！(年齢、性別、アマチュア可)

**募集作品**  
キャッチフリーズ部門の最優秀賞(1名)には**2万円分の商品券**を授与!

アイデア部門      キャッチフリーズ部門

ご応募・お問合せ先  
(一財)沖縄県地域環境センター 環境科学課 (住所：那覇、宮城、国分)  
住所：〒901-3111 沖縄県読谷郡読谷町220番地  
TEL：098-875-5208 FAX：098-875-1043 Mail：gassok@kkanwa.jp

応募方法などのお問い合わせは  
事務局へご連絡ください

応募方法	応募フォームでの提出 沖縄県地域環境センターホームページより、応募フォームにごアクセスし必要事項を入力の上、ご応募ください。 (応募資格の項目) 氏名(ご本名)、電話番号、住所、電話番号、キャッチフリーズのアイデアを入力し、応募書へ提出していただき、応募は郵送、FAX、郵便、電子メールにて受付いたします。
作品のイメージ	【キャッチフリーズのイメージ】 -プラスチック問題解決や資源循環をイメージさせるもの -人の心を驚かす力、笑えやすさも歓迎します -20文字以内 ※写真などの図面を添付する場合は、写真らしさ(写真、実物)が取り入れられていることが望ましいです。 【アイデアのイメージ】 -プラスチック問題解決や資源循環に関するアイデアであること。 -年齢性別、なし。(ただし、応募フォームより応募資格の項目をご入力ください)
選考について	-キャッチフリーズは、令和4年8月1日(月)にキャッチフリーズの最優秀賞決定に向けた選考に要請し、選考結果を決定します。 -最優秀賞に決定した応募者へ選考結果を通知いたします。受賞者以外の方にはご連絡はございませんので、ご了承ください。 -アイデア作品につきましては、プラスチック問題に関するご応募者全員での抽選及び選考が実施されます。
留意事項	-応募にかかる郵送料の請求はございません。また応募料は返金いたしません。 -応募作品は、複製、流布、転載、第三者の権利侵害を通知致しません。受賞者以外の方にはご連絡はございませんので、ご了承ください。 -応募作品の全てを、抽選結果の発表と同時に公開いたします。 -応募をもって、本募集要項に同意したものとみなします。

応募はこちらから！  
(沖縄県地域環境センターホームページ)

プラスチック問題解決のためのキャッチフリーズ及びアイデア募集 応募用紙

キャッチフリーズ (20文字以内) : \_\_\_\_\_

作品の趣意 (込めた思いなど) : \_\_\_\_\_

プラスチック問題解決に向けたアイデア : \_\_\_\_\_

氏名 (ご本名) : \_\_\_\_\_ 住所 (〒 \_\_\_\_\_ ) : \_\_\_\_\_

電話番号 : \_\_\_\_\_

図3 募集チラシ兼応募用紙



県庁 1F 県民ロビーや県立図書館では、プラスチック問題の啓発資料展示とともに、チラシの配布とポスターの掲示を行った。加えて、県内ショッピングセンター2社 19店舗、那覇空港国際線3階ふくぎホールにおいて、チラシの配布とポスターの掲示を行った。那覇空港では応募箱も設置し、空港利用者が記入しやすいよう配慮した。



図4 県庁 1F 県民ロビーでの掲示状況



図5 県立図書館での掲示状況



図6 県内ショッピングモールでの掲示・配布（左）、那覇空港での掲示・配布状況（右）

## 2. 応募者データ

### ①年代別

年代別で見た応募者数は、キャッチフレーズ、アイデアともに、10代が最も多かった（153名、95名）。次いで60代、40代の順となっている。

表2 キャッチフレーズ及びアイデアの年代別応募者数

キャッチフレーズ			アイデア		
年代	人数（名）	割合	年代	人数	割合
10代	153	25%	10代	95	24%
20代	41	7%	20代	24	6%
30代	41	7%	30代	25	6%
40代	90	14%	40代	56	14%
50代	65	10%	50代	48	12%
60代	100	16%	60代	66	17%
70代	69	11%	70代	52	13%
80代	13	2%	80代	9	2%
記入なし	49	8%	記入なし	18	5%
合計	621	100%	合計	393	100%

### ②職業別

職業別で見た応募者数は、キャッチフレーズ、アイデアともに、学生が最も多かった（162名、101名）。次いで会社員・公務員の順となっている。

表3 キャッチフレーズ及びアイデアの職業別応募者数

職業項目	人数（名）	
	キャッチフレーズ	アイデア
自営業	35	26
会社員・公務員	153	88
パート・アルバイト	42	25
専業主婦・主夫	49	30
自由業・フリーランス	27	20
学生	162	101
無職	103	77
その他	13	9
記入なし	37	17

### ③都道府県別（次頁に表を掲載）

都道府県別で見た応募者数は、キャッチフレーズ、アイデアともに、沖縄県が最も多かった（182名、108名）。次いで東京都、神奈川県の順となっている。47都道府県中、キャッチフレーズは42都道府県、アイデアは41都道府県から応募があった。

表4 都道府県別の応募人数

都道府県名		人数(名)	
		キャッチフレーズ	アイデア
沖縄県		182	108
北海道・東北地方	北海道	6	2
	青森県	3	0
	岩手県	2	1
	宮城県	6	6
	秋田県	0	0
	山形県	2	1
	福島県	6	4
関東地方	茨城県	3	2
	栃木県	4	3
	群馬県	11	8
	埼玉県	24	14
	千葉県	25	16
	東京都	70	43
	神奈川県	43	24
中部地方	新潟県	5	2
	富山県	1	0
	石川県	5	4
	福井県	0	0
	山梨県	7	5
	長野県	4	2
	岐阜県	7	5
	静岡県	19	13
	愛知県	31	20
近畿地方	三重県	7	5
	滋賀県	8	5
	京都府	12	7
	大阪府	32	21
	兵庫県	17	11
	奈良県	5	5
	和歌山県	0	0
中国地方	鳥取県	0	1
	島根県	1	1
	岡山県	6	5
	広島県	13	11
	山口県	2	1
四国地方	徳島県	2	2
	香川県	2	1
	愛媛県	6	4
	高知県	0	0
九州地方	福岡県	15	12
	佐賀県	2	2
	長崎県	6	3
	熊本県	9	6
	大分県	1	1
	宮崎県	2	2
	鹿児島県	4	3
記入なし		3	1
合計		621	393

### 3. キャッチフレーズの審査結果について

募集したキャッチフレーズは審査要綱に基づき、事務局員 5 名による一次審査を実施した。各事務局員は、応募作品の順位付けを行い、1～10 位に 3 点、11 位～20 位に 2 点、21 位～30 位に 1 点、31 位以下に 0 点の点数をつけた。集計の結果、合計点数の上位 30 作品を対象に二次審査へ移行した。

二次審査は審査委員会において実施した。審査委員会は「プラスチック問題に関する万国津梁会議」委員（7 名）、環境部環境整備課長、環境部環境再生課長の合計 9 名から構成されている。一次審査により選定された応募作品（30 点程度）を対象に、審査要綱の「5 審査基準及び評価点数」に掲載した審査基準（表 5）に基づき審査・評価を実施した。

表 5 審査基準

審査項目	基準	点数		配分
メッセージ性	プラスチック問題及びプラスチック削減をわかりやすく簡素に表しているか。	優れている	30 点	30 点
		普通	15 点	
		不足	0 点	
印象力	印象的で覚えやすいものであるか。	優れている	30 点	30 点
		普通	15 点	
		不足	0 点	
独創性	沖縄らしさが感じられるフレーズであるか。	優れている	20 点	20 点
		普通	10 点	
		不足	0 点	
汎用性	多くの県民や多様な業界へ訴求するものであるか。	優れている	20 点	20 点
		普通	10 点	
		不足	0 点	

集計の結果、評価点数の合計値が最高となった作品を最優秀賞とした。

最優秀賞作品：

『プラゴミを 減らして守れ！ うちなー美ら海』

（兵庫県在住の方からのご応募）

応募者の作成趣旨（キャッチフレーズに込めた思い等）：

率先してプラスチックゴミを減らすこと、海洋投棄を無くすことが沖縄の人々の願いであり、未来に美しい海を届けることにつながるという趣旨

#### 4. キャッチフレーズの活用について

キャッチフレーズの受賞作品は、県ホームページで公表する。

決定したキャッチフレーズは、県民全体でプラスチック問題を考え、行動するきっかけとなるよう、11月開催予定の「エコライフ&ネイチャーフェア 2022」（令和4年度県民環境フェア）内で紹介するとともに、次年度以降実施する周知啓発事業等で活用する。



図7 「エコライフ&ネイチャーフェア 2022」（令和4年度 県民環境フェア）HP 画像



## 5. 募集したアイデアの概要

募集したアイデアを、プラスチック問題に関する提言（案）の章立てに基づき、9つのグループに整理した。本資料では、各グループのアイデアの一部を紹介する。なお、募集したアイデアの詳細は別添資料2に示す。本資料で掲載するにあたり、以下の基準を設定し、それに従い選別を行った。

- ① 他のアイデアに比べて、特徴的なアイデアであること。
- ② ①について、他に似たアイデアがある場合、より具体的なアイデアであること。

表6 環境教育・コミュニケーションに関するアイデア（一部紹介）

①環境教育・コミュニケーション	
1	<u>県内を巡回する子供（小学生）のための「ひとつ拾おうプラゴミを」大会を開催。</u> 参加人数は20～30人程度を想定。浜辺でのゴミ拾いに時間を掛けるのではなく、参加者全員がプラゴミをひとつ拾った時点で場所を学校や公会堂などに移してプラゴミ教室を開催。 <u>一人ひとりが拾ったプラゴミの起因と生態系へ及ぼす悪影響の具体的な事例、本来あるべき正しい処分方法等を専門家が個別に説明。プラスチック問題解決のための活動を長期的かつ継続的に行ってゆくための人を育てる場とする。</u>
2	<u>各市町村に環境問題に対する啓発活動を行う部署を作り、学校（小中高）と連携して講演会や「環境教室」のような授業を毎年実施する仕組みを作る。</u> 学校では、地域の警察署や消防署と連携して交通安全教室や避難訓練を実施している点に着目して考えました。 <u>学校行事として年間計画に組み込み、沖縄の子供たち全員が平等に環境教育を受けられるようにすることで環境意識が育ち、プラスチック問題の解決に繋がっていくと考えます。</u>
3	小学校など小さいうちからプラスチックのゴミに対する問題を学ばせたり、海でゴミ拾いなどさせて意識させる。
4	ポイ捨てがダサイ事を小学校中学校で教える。
5	問題解決するために、義務教育時から沖縄のプラスチック問題について授業をとり、解決策を募ったり、実際にごみ処理場でのプラスチックの処理過程を体験させる。

表7 普及啓発に関するアイデア（一部紹介）

②普及啓発	
1	プラスチック回収ツアー 観光ツアーを通してプラスチック問題を知ってもらう。プラスチック回収をしながらごみ問題を考えるきっかけを作ってもらう。
2	まずは目的を明確に宣言した上で県と市町村の広報誌に、同じプラスチック問題マンガを継続して掲載する。 <u>①プラ問題とは（現状）②プラの種類と行きつく先について③行政と民間が今行っていること④ひとりひとりができること、やってほしいこと</u> 掲載終了後はウェブや紙で目につきやすくする。そして数値で捉えられる目標をいくつか設定して公表し、3ヶ月か6ヶ月おきにデータと起こっている変化を広報行う。 <u>要点は「まずは事実、現状を知ってもらうこと」⇒「具体的な問題の共有」⇒「課題の抽出と改善策の立案」⇒「実行と成果のフィードバックの継続」</u> <u>目指す姿は、行政がコーディネート役となって目的と目標を共有し合い、民間、個人ひとりひとりが自ら戦うために立ち上がり、結果県民一丸となることだと考えます。</u>
3	水族館に、プラゴミが海に与える影響を展示する。
4	「美しくない海の写真展」 沖縄の美しい海の写真とごみが打ちあげられた美しくない海の写真を並べ（なるべく同じアングル）、いまそこにある沖縄の海の危機を訴える。室内展示のほか、ポスターなど屋外での展示も可能。
5	<u>プラが何にどれくらい使われているか見えない。皆がわかりやすく何を減らすべきか一覧できる図表が必要。全部を止めることはできない。何なら代替案を出せるのか考える絵入の図を広く公開し意見を集めるべき。まずはここから。</u>

表 8 プラスチック製品の使用削減に関するアイデア（一部紹介）

③プラスチック製品の使用削減	
1	レジ袋だけでなく、惣菜向けなどのプラスチック容器でも、使うか使わないかを選択できて、金銭的にも差別化できるようにする。
2	昔の生活に戻り、紙とか木でできた生活用品を普段使いすることではないでしょうか。
3	<u>よく似合う黍のストロー沖縄に……</u> 葦琵琶湖畔のある地域ではプラスチック製のストローに代え、地元の葦を使用。脱プラに貢献している。葦でなくても竹でもいいが、 <u>沖縄は沖縄らしく「さとうきび」で代替できないか。</u>
4	観光施設（ホテル・旅館・ペンション等）、土産物店、コンビニ等での利用に際して <u>包装用の袋などを県固有の植物・紙を原料にしたものに代替したうえで有料化して県固有の伝統・文化を県外へ広める。</u> 同時にそれを必要としないお客様への資源削減にも取り組む。
5	<u>お出かけはマイボトル持参で……</u> 散歩や買い物などにはマイボトルで出かけませんか？と呼びかける。経済的だし、自販機等でペットボトル入りの飲料を買うことも減り、プラゴミを減らすことにつながる。金属製のボトルでもいいし、瓢箪などはおしゃれかも

表 9 資源循環の取組に関するアイデア（一部紹介）

④資源循環の取組	
1	<u>今は化石燃料を使い内地や海外に運び処理しているプラスチック・アルミ再生プラントを県内に開発し完全循環型社会を。</u>
2	学校だけでなく企業でも定期的に廃品回収のように集める機会を作ってみるのもいいかもしれません。
3	ゴミ分類を正しくシンプルな仕組みにする
4	ゴミ箱の設置、回収の予算制定
5	3Rを改めてもう一度見直してできているのかチェックをする。できていないところがあったらなおす。

表 10 クリーン活動の推進（海洋ごみ対策）に関するアイデア（一部紹介）

⑤ クリーン活動の推進（海洋ごみ対策）	
1	有名人と一緒にゴミを回収するイベントを開催してゴミの数や重さで握手とか写真撮影ができるという条件でイベントをやる
2	<p>「<u>プラゴミ・ゼロデー</u>」又は「<u>プラゴミ・回収デー</u>」の設定</p> <p>理由・・・毎月1回(第1土・日曜日など)程度、全島の市町村ごとにプラゴミを回収する日を設定し、掃討する。</p> <p>特に、観光地としての沖縄県の場合、海や海岸のプラゴミ汚染が深刻のようであるから、この点を市町村単位で柔軟に対応できるようにすることが大事である。</p> <p>また、<u>その成果として、県は、市町村毎の人口1000人当たりのプラゴミ収集量を公表して、成績優秀な市町村を表彰するなど、表彰制度も県民の励みになると思う。</u></p>
3	<p><u>地域の学生や団体が参加できる「プラごみ回収大会」を定期的に開催して年間チャンピオンを決める。</u>表彰や賞品あり。大会をマスコミや市の広報等で宣伝し地域になくしてはならない大会として周知・定着させていく。可能であれば大会マスコット等も考案して活用。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>5GやIOT等の新技術を使って、プラスチックを追跡、責任の所在をはっきりさせ、処理させる</u></li> <li>・無数のAI搭載無人ドローン（水中・潜水・空中・地上）を運用、プラスチックごみを自動収集、処分</li> </ul>
5	<p>観光のイベントとして、海岸でプラスチックごみを拾うという活動をしたらどうかと思いました。<u>ゴミ拾いと共に、地元の人のみが知る海のスポットに案内するなどの特別な特典と合わせたら参加者が増える</u>と思います。</p>



表 11 ポイ捨て・不法投棄対策の強化に関するアイデア（一部紹介）

⑥ポイ捨て・不法投棄対策の強化	
1	街中のゴミ箱が非常に少ない気がします。 <u>増やす為の工夫として、デザイン性の高いゴミ箱を増やして街の雰囲気を壊さないようにする、テロ対策で設置しないという理由であれば透明なゴミ箱にするなど工夫をすれば良いと思います。</u>
2	入場料を取ってごみ袋の配布、ゴミ箱の設置、自治体独自のポイ捨て罰金制定。近隣のごみ出すテイクアウト店舗にはごみ回収の取り組み義務。自販機を設置しないもしくは設置するならごみ回収義務化。
3	学生時代にモルディブの観光ガイドブックを読んだことがあります。そこにプラスチック問題解決のヒントが書かれていました。 <u>モルディブに往来するドイツの航空会社が観光客にゴミ袋を配布して、ゴミを持ち帰らせるということをしていました。</u> 沖縄県は観光で経済が成り立っています。綺麗な海を守ることが何よりも大切です。やはり観光客にゴミを持ち帰らせることが必要だと思います。せめてホテルまで持ち帰らせるように出来れば、前進です。私は航空会社かホテルがゴミ袋を配布して回収することを提案します。
4	<u>浜辺に「あなたは、プラスチックでできたビーチに寝そべりたいですか？」と書いた看板を立てるのはいかがでしょうか。</u>
5	分別ゴミ箱の設置と、ゴミ箱に入れられた際にシーサーからありがたいの音声を聞けるようにする。

表 12 ブランディングに関するアイデア（一部紹介）

⑦ブランディング	
1	不便な生活をカッコいいと考えられる世の中に。キャンプが流行るのなら、生活の中でプラスチックを使わない不便も楽しめるのでは？プラスチックのない生活を映えにする。
2	再利用しやすい商品にすることとゴミを捨てやすい、しかも 3R している実感をもてる街にする。
3	<u>プラスチック用のごみ箱(ペットボトルなど)の名称を「ゴミ箱」とするのではなく、バトンボックスなど次代につなぐ印象の名称に変更するなど</u> はどうかと考えております。
4	空港などで観光客の方々に、リサイクルや環境保全マナーに関するテストを実施し、合格できるまで入島できない決まりようにしてはどうでしょうか。少しは意識が高まるかと。
5	養殖ではあるがマイクロプラスチックに苛まれない魚介類ブランドを沖縄県から世界に売り込む。

表 13 推進体制の構築に関するアイデア（一部紹介）

⑧推進体制の構築	
1	<u>プラスチックが悪ではないと思っています。画期的な技術なので未来に繋げたい。なので自然界に安心安全に分解される素材のプラスチックの開発。</u>
2	スーパーのマイバケット（いわゆるマイカゴ）を広めます。古くなったものは、お客さんが購入した額でスーパーが買い取るシステムにします。レジ袋も減り、カゴの廃棄も管理されます。
3	大手のコンビニエンスストアと提携して、持ち帰り用のコーヒーを販売する際に、 <u>折り畳み式で持ち運びのできるタンブラーを持参した人には割引で提供する</u> ようにする
4	レジ袋→エコバッグに移行したように、個人では、可能な限りマイボトル持参を推奨。推奨運動を広く展開する。 <u>飲料メーカー(企業)では、ペットボトル削減→紙パック、アルミ缶ボトルへの移行の取組を実施。</u> その取組にかかる費用を行政が負担し、その取組を実施している企業を表彰する。
5	プラスチックの代替素材の開発のための寄付金を募る

表 14 制度の導入と活用に関するアイデア（一部紹介）

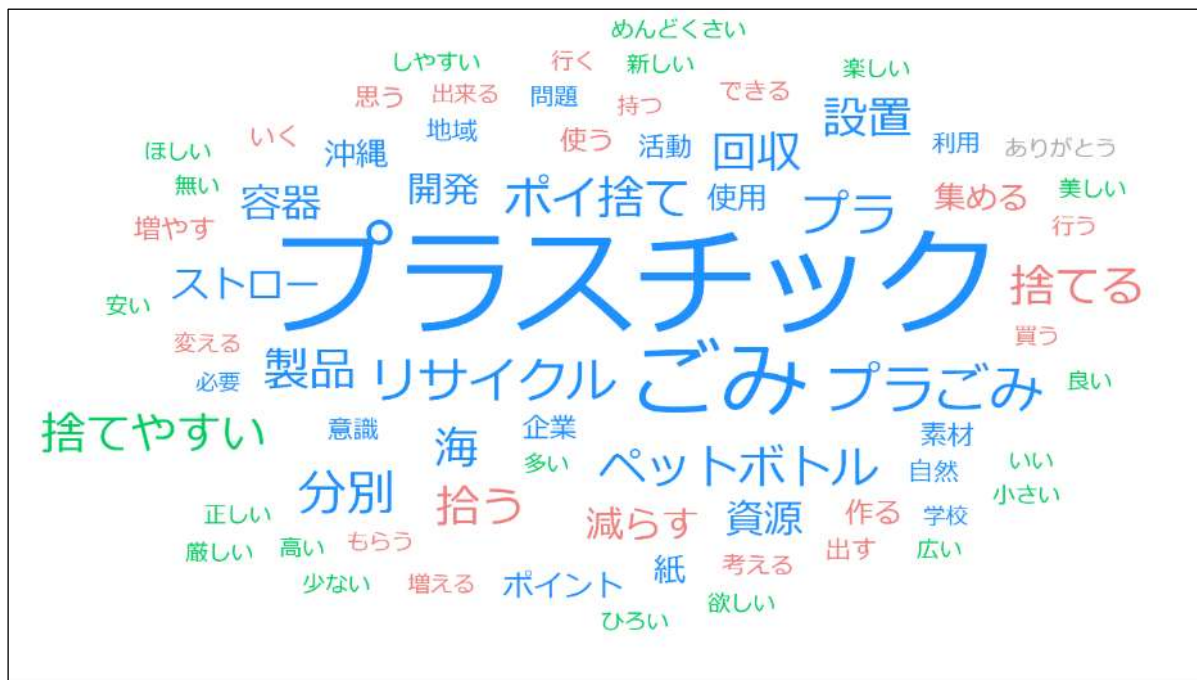
⑨制度の導入と活用	
1	県内への対観光客への、500円/一名の『沖縄の自然を蘇らせる基金』として頂くことで県としての取り組みを、国内・海外へアピールし、強力且つ着実に推進する。
2	今世界中で導入されているペットボトル/空き缶/瓶/を収集するマシンをスーパーの一角等に設置して、 <u>お客様自身が投函。入れた種類や重さに応じて換金やクーポンを発行する。収集され自動的に分別された資源ゴミをスーパーや自治体が業者に売却する流れ。ゴミが直接お金やクーポンになるので積極的にゴミを拾う人や分別する人が増え、ポイ捨ても減る。</u>
3	プラスチック製品をとことん減らす。また、プラスチック製品を買う時に払うプラスチック税を作り、その税収は環境保護の活動にあてる。
4	プラスチックの回収に公費を使うといいと思います。国や自治体の負担割合は後で考えるとして、具体的には回収したプラスチック量に対して資金を渡す案ですが、昔は瓶の回収で10円、30円がもらえたと父が言っていました。費用がかかるようであれば、結果的にはプラスチック汚染を防ぎきれいな海を取り戻すよりはとても安くできると思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製造業者（業界団体）へのペナルティー</li> <li>・プラスチック回収報奨金制度（回収従量ポイント還元。例．海の家利用権）</li> <li>・釣り人、海水浴客等からの入場料・保証金等の徴収</li> <li>・災害復興税の如く所得税や法人税から仮称「海洋環境保護改善特別税」（例．税額に対し率0.00053%・ゴミゼロ）を徴収、国民への啓蒙とプラスチック問題対策予算とする</li> </ul>

また、募集したアイデアをユーザーローカル AI テキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを作成した（図7）。

ワードクラウドを作成する際は、ある単語が与えられた文書の中でどれだけ特徴的であるかが「スコア」として設定されており、スコアの値が大きいほどワードクラウド上の文字サイズは大きくなっている。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低めになっている。なお、「ごみ」と「ゴミ」、「プラゴミ」と「プラごみ」は同義語として扱った。

単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

ワードクラウドを見ると、名詞「プラスチック」が中央に据えられており、隣接して「ごみ」「プラごみ」「リサイクル」「分別」「回収」などが名詞として比較的大きなサイズで配置されている。また、動詞は「捨てる」や「捨てる」「減らす」が比較的大きなサイズで配置されている。形容詞は、「捨てやすい」が最も大きいサイズで配置されている。



※ユーザーローカル AI テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）で分析

図8 募集したアイデアのテキストデータで作成したワードクラウド

加えて、ワードクラウドを作成する際の基礎となった、単語出現頻度表を表14に示す。品詞別に見たとき、名詞は、「プラスチック」のスコアが最も大きく、次いで「ごみ」「プラごみ」「リサイクル」「分別」「プラ」の順となった。動詞は、「捨てる」のスコアが最も大きく、次いで「捨てる」「減らす」「課す」「集める」の順となった。形容詞は、「捨てやすい」のスコアが最も大きく、次いで「響きにくい」「塞がりやすい」「壊れにくい」「ほど遠い」の順となった。感動詞は「ありがとう」のみであった。

表 15 募集したアイデアのテキストデータにおける単語出現頻度（スコア順）

名詞	スコア	出現頻度	動詞	スコア	出現頻度
プラスチック	1888.09	284	捨てる	31.05	43
ごみ	1105.10	207	拾う	26.02	28
プラごみ	320.96	26	減らす	16.99	19
リサイクル	192.20	49	課す	12.92	5
分別	180.93	38	集める	10.46	23
プラ	175.98	47	呼びかける	8.54	5
ポイ捨て	133.76	27	悪める	7.41	7
ペットボトル	10.79	43	作る	7.13	50
製品	10.22	48	使う	6.10	52
マイボトル	10.098	14	増やす	6.07	15
回収	5.42	60	広める	5.88	6
プラスチック	93.94	14	設ける	5.48	5
冊	4.79	67	取り組む	5.22	5
設置	73.07	38	代わる	4.29	5
レジ袋	69.82	15	思う	3.79	82

形容詞	スコア	出現頻度	感動詞	スコア	出現頻度
捨てやすい	34.82	4	ありがとう	0.01	2
響きにくい	7.65	1	---	---	---
喜がりやすい	7.65	1	---	---	---
壊れにくい	2.71	1	---	---	---
ほご強い	1.66	1	---	---	---
しやすい	1.55	5	---	---	---
つきやすい	1.38	1	---	---	---
美しい	1.20	7	---	---	---
やむない	1.16	1	---	---	---
ひろい	1.15	2	---	---	---
正しい	1.10	5	---	---	---
広い	0.90	5	---	---	---
乏しい	0.51	1	---	---	---
いい	0.37	22	---	---	---
れやすい	0.31	1	---	---	---

※ユーザーローカル AI テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）で分析

## 6. アイディアの活用について

募集したアイデアは、プラスチック問題に関する万国津梁会議内での議論において活用するとともに、今後の県政や、県の事業企画の参考とする。

また、県民や事業者の取り組みの参考となるよう、アイデア集として県ホームページに掲載する。



(参考) 募集したアイデア一覧

①環境教育・コミュニケーション	
1	学校の教科にボランティアを作ってはどうか？外国のゴミもありますし一朝一夕にプラゴミはなくなりません。当然ひとり一人の心掛けで減らさなくてはいけません、すぐに効果を出すためには漂着物の撤去しかないと思います。 教科にボランティアがあれば、砂浜の清掃を通じて環境教育も出来るのではないのでしょうか。
2	学校や会社などでプラ削減の勉強会をする。
3	県内を巡回する子供（小学生）のための「ひとつ拾おうプラゴミを」大会を開催。参加人数は20～30人程度を想定。浜辺でのゴミ拾いに時間を掛けるのではなく、参加者全員がプラゴミをひとつ拾った時点で場所を学校や公会堂などに移してプラゴミ教室を開催。一人ひとりが拾ったプラゴミの起因と生態系へ及ぼす悪影響の具体的な事例、本来あるべき正しい処分方法等を専門家が個別に説明。プラスチック問題解決のための活動を長期的かつ継続的に行ってゆくための人を育てる場とする。
4	最初の一步は自分たちが使ったプラやペットを放置したり捨てたりしない
5	総合的な学習の時間で環境問題は必須とする。
6	実態を子供の時から知っておく、勉強する機会を設ける
7	学校での学習に、この問題を取り扱う時間をきちんと位置付けることが必要だと思います。
8	学校で若い人に重要性を教育を。
9	授業などでプラごみ問題を取り扱って、幼い時から意識づけすることが大切だと思います。
10	小学校から自然破壊の授業に力を入れる。高学年からフィールドワークを取り入れる。
11	各市町村に環境問題に対する啓発活動を行う部署を作り、学校(小中高)と連携して講演会や「環境教室」のような授業を毎年実施する仕組みを作る。学校では、地域の警察署や消防署と連携して交通安全教室や避難訓練を実施している点に着目して考えました。学校行事として年間計画に組み込み、沖縄の子供たち全員が平等に環境教育を受けられるようにすることで環境意識が育ち、プラスチック問題の解決に繋がっていくと考えます。
12	小学校など小さいうちからプラスチックのゴミに対する問題を学ばせたり、海でゴミ拾いなどさせて意識させる。
13	義務教育での環境科の創設
14	プラゴミゼロへ、小さい時からの教育も大切。
15	あなたが出したゴミはあなたのもの自然を守ることは将来のあなたを守ることという考えを地域や学校で学ぶのも大事。
16	ポイ捨てがダサイ事を小学校中学校で教える
17	・近くのゴミ拾いを学校の中のボランティア活動に組み込む。 子供の頃から、ウミガメやサンゴの命の大切さや、便利なプラスチックは、海に流れつくと生き物を傷付けることを伝える。
18	ペットボトル問題に関する授業などを学生や子ども向けに行い、意識を高めると良いと思います。
19	家庭教育で子供にも伝えます
20	子供の頃からの環境教育の徹底。長いスパンで取り組むべき問題。

①環境教育・コミュニケーション	
21	問題解決するために、義務教育時から沖縄のプラスチック問題について授業をとり、解決策を募ったり、実際にごみ処理場でのプラスチックの処理過程を体験させる。
②普及啓発	
1	2022年、プラスチックに関する法律が出来たとのこと。環境省の「プラスチックはえらんで減らしてリサイクル」この選減再生を個々の中へ根付かせようとしても、ありがちな言葉では響きにくい。繰り返し、飽きさせない、つねに考えるためには楽しさが必要。それには音楽やアート、ゲーム、商品など人を引き寄せるものをプラスチック問題に絡めて多岐に浸透させていく。まずは意識の種まき。そうして動いたところがやがて行動を起こす。
2	地道に啓発
3	海岸に上がるゴミをみんなで回収し、そのポイントを競い合うゲームのイベントを催し、楽しみながらもプラスチックゴミに対する人々の意識を高めます。 例えば、三人一組のチームを作り、2時間で集めたゴミの重さや一番大きいゴミの大きさを競います。
4	インフルエンサーの私が、SNSで禁プラ投稿を流行らせる。
5	皆が捨てないことが一番なのでもっともっとみんなにお願いしてほしいです。
6	プラスチック製品は使わない。と、一人一人が心に思うこと。
7	持続可能な社会の構築に不可欠な資源の循環に向けて、児童、一般から、絵やイラストを公募いたします。
8	どんなプラスチックゴミが多いのかを調査する必要があると思う。プラスチックゴミを減らすにしても、すべてのプラスチックゴミが急になくなるわけではないので、プラスチックゴミの統計をとり、そのプラスチックゴミの種類毎に取れる対策を考える。
9	マスクと同じくプラゴミやペットボトルの持ち帰りを意識付ける。
10	国民への繰り返しの啓蒙活動（川柳・作文・映像等。学校ごと、会社・業界全体で）
11	1日に人間が食べているプラスチック量を、調べたら結果を公表する
12	プラスチック芸術祭を開催。捨てるプラスチックで作品を制作。
13	プラスチックの日を設定する。その日を中心に啓発やイベント、教育、表彰を行う。
14	自治体で回収されたプラスチックの行方はよくわからないので、リサイクルツアー、動画配信をすると関心が高まるのではないかと思う
15	啓蒙のためバッジを作成する。 絵柄は通行止めのマークの上に「STOP THE プラ」の文字を入れる
16	使い捨てが多すぎる今の日本、その中でもプラ製品が特に多い。使えるものは使いきるをモットーに考え直しましょう。
17	プラスチックの経年変化と美しい自然の経年変化を比較して提示。プラスチックは変わらず残り続けるが、自然は悪化していることを訴える。
18	問題を可視化するために、ペットボトルのラベルにプラスチックゴミで汚れた海をプリントする。（タバコの箱に汚れた肺をプリントするのと似たような試み）
19	まずは多くの人に知ってもらうこと。年齢・職業・地域などに応じて簡単に身近なことからプラスチック問題について知る機会を増やしていくことが大事かと。 例：ビーチクリーンやごみ処理施設や処分技術を見学できる機会

②普及啓発	
20	一人一人はプラゴミゼロも気持ちを持ち、実行あるのみ。
21	プラスチック回収ツアー 観光ツアーを通してプラスチック問題を知ってもらう。プラスチック回収をしながらゴミ問題を考えるきっかけを作ってもらう。
22	何をすれば対策になるのかの継続的な教育と啓発は絶対に必要だと思いますが、海なし県での出張講義はいかがでしょうか。目の前が海という人ばかりでなく、海がないところからでも川を伝いマイクロプラスチックを発生させる可能性があることを説く。何より、こういう活動をすることで全国、或いはエリアのマスコミの取材が期待され、講義への参加者のみならず、多くの方に見ただけで、啓発という意味での大きな成果が望まれると思う。
23	どこの国のどのようなプラスチックが流れてきているのかグラフなどで継続的に公表し 世界的に協力しあう
24	プラスチック製品全てに、タバコ製品のような啓発を行なえばよい（マークや言葉）
25	海や海岸で回収したゴミを市役所や学校等で展示してまわる。
26	結局は捨てる人の意識の問題だと思うので、多少ショッキングな映像でもいいので、「このままだと、いずれちゅら島は（美しさを失って）こんな風になってしまうよ」という映像を作って公開すると、いいのではないか。
27	国内外のアーティストを沖縄に呼び（呼ばなくても可）、海洋のプラスチックごみで作品（オブジェ、絵画等）を制作してもらう。その作品をオークションにかけ、その様子を配信。地元の方の作品も出品し、人々に「自分も作品を作りたい」と思ってもらい、ごみを身近に自分の問題としてとらえてもらえるよう啓蒙する。
28	プラスチックをなるべく身近で減らせるように紙に変えるものをもっと増やすこととか、もっと多くの人にプラスチックで苦しんでいる生き物が居ることなどを広めて行くことが出来たら協力してくれる人も増えるのかなと思った。
29	意識向上のため、若者に人気の人がプラスチックリサイクルを訴えるポスターを作成し、お店などに掲示する。
30	様々なイベントと提携しながらゴミの分別、プラスチック問題を広めていく。
31	正しいプラスチック製品の使い方、処理法、などをもっと啓蒙していくことが大切。
32	使い終わったプラスチックはごみではなく資源だと教えています。
33	海で集めたプラスチックで、大きなクジラ等をみんなで作って、活動を広める
34	効果的な告知方法を検討
35	まずは目的を明確に宣言した上で県と市町村の広報誌に、同じプラスチック問題マンガを継続して掲載する。①プラ問題とは（現状）②プラの種類と行きつく先について③行政と民間が今行っていること④ひとりひとりができること、やってほしいこと 掲載終了後はウェブや紙で目につきやすくする。そして数値で捉えられる目標をいくつか設定して公表し、3ヶ月か6ヶ月おきにデータと起こっている変化を広報行う。 要点は「まずは事実、現状を知ってもらうこと」⇒「具体的な問題の共有」⇒「課題の抽出と改善策の立案」⇒「実行と成果のフィードバックの継続」 目指す姿は、行政がコーディネート役となって目的と目標を共有し合い、民間、個人ひとりひとりが自ら戦うために立ち上がり、結果県民一丸となることだと考えます。

②普及啓発	
36	水族館に、プラゴミが海に与える影響を展示する。
37	最近の学生はエコバックを持つことをめんどくさいと捉える人が多いのでコンパクトで低価格可愛いデザインでインフルエンサーを中心的に広めていけばエコバックを持つ人が増えると思います！
38	各自治体の廃プラの量を数値化して、再利用の機運を高める
39	きれいな美ら海のポスターなどを町中に貼れるところに貼って、みんなできれいな海を守っていこうとする意識を高める。
40	鳥取の父娘で活動をしています。海岸から集めたプラスチックごみを洗って材料とし、家庭用アイロンで溶かしてキーホルダーを作るワークショップを開催しています。2021年7月から約30回・延1200名の方に参加いただき楽しんでもらいました。 2022.3.27には沖縄県波照間島に出張してワークショップを開催し、島民の方に喜んでいただきました。その時の様子が4/5の八重山毎日新聞に掲載されました。 参考までにページを共有させていただきます。 <a href="http://kirapapa.conohawing.com/nicocla/medeia/">http://kirapapa.conohawing.com/nicocla/medeia/</a>
41	プラスチック使いきりコンテストの開催
42	沖縄県として、統一の”自然を守っていこう！脱プラスチック！”を商業施設でのポスター・のぼり・Tシャツ・観光タクシーのステッカー添付などでPRする。 ※因みにTシャツは、表が”自然を守っていこう！”バックプリントが”脱プラスチック”のロゴをイメージしました。
43	プラスチックが問題視されていることは多くの人を知っているけれど具体的にどのようなことが問題視されているのか知らない人も多いと思います。なのでまずはプラスチック問題について知ってもらうことが解決の第一歩だと思います。なので現在流行っているSNSなどのネットを通してまずは若い人をターゲットにプラスチック問題について危機感を持ってもらうことが大切だと考えます。プラスチックは正しく使えばとても便利なものなので正しい使い方や安易な気持ちでのポイ捨てが多く魚の命を奪うことを知ってもらうことがプラスチック問題解決につながるとわたしは思います。
44	沖縄プラスチックツアー(観光とプラ対策を兼ねて全国から募集、一部割引)の実施 時期は第7波ピークアウト後
45	沖縄プラスチックツアーの実施 第7波ピークアウト後に観光とゴミ対策兼ねて企画、一部割引 プラ対策の周知も必要
46	ひとりひとりの意識を変えていくしか無いのかな…と思います。
47	プラスチックを再利用した、デザイン性のある製品を販売。プラスチックごみを使用した、環境問題啓発を題材にしたアート展を開催する。
48	少しずつ変化させる



②普及啓発	
49	<p>沖縄の浜辺にたどり着いてしまったプラスチックゴミで芸術作品を作り そこから生まれた作品やデザインを、新たな沖縄の観光お土産や、記念 art として展示、販売する。沖縄最大リゾート地で珊瑚保全推進の恩納村に「美ら海 LOVE+ (プラス) ティックギャラリー」を作り eco art で沖縄 art ブランドを作り販売し、その売り上げがまた沖縄の自然保護活動やプラスチックゴミのビーチクリーンの活動費に充てられるようにすることが、自然保護と芸術文化の発信になり、新しい eco art ビジネスになり沖縄観光の魅力に繋がると思います。</p> <p>実行の順序としては 沖縄の美ら海代表のリゾート地の恩納村から「美ら海♥□LOVE+プラスちっく! ギャラリー」を作り(はじめはリゾートホテル内にある既存のギャラリーやショップから企画展スタートする) その販売の売り上げが、自然保護ビーチクリーン活動を応援し広まっていくことが、新たな沖縄の観光の魅力となることでしょう。</p> <p>実際、我々のシーサー協会の 火災で燃えてしまった、世界遺産首里城の瓦礫を使った「首里城復興シーサー プロジェクト」を通して沖縄 eco art の反響を感じています。</p> <p>美ら海、自然の大切さ、自然への愛の活動を沖縄から世界にムーブメントにしよう! それ「美ら海♥□LOVE+ちっく」プロジェクトです!□</p>
50	美ら海を守ることが人類を守ることに繋がると意識付けする動画、ポスター、研修等を継続的に行う。特にそうした活動を行ううえで自治体トップの宣言は継続することが重要です。
51	残るものではなく消えるものを使う心がけ。
52	ごみを外へ捨てない基本的なことから始める。
53	プラごみを減らすよう人間の意識改革と実行あるのみ
54	一人一人がプラスチックのゴミを排出しない、また、そのゴミを見つけたら回収する。その意識の向上しかないとします。 回収した場合の回収箱(ゴミ箱)の設置も必要かと思えます。
55	プラスチック製品を代替した生活の体験会を実施する
56	無害の紙製品を使おうキャンペーンや教育機関でイベントや動画などを視聴させて子供の時からプラスチック問題に関心をもつようにする。
57	使い捨てと言う考え方を変えていきたいです。
58	レジ袋廃止の効果を検証し、プラ袋を捨てる原因を取り除く制度的な手段を一つずつ講じていく必要があると考えます。
59	回収の徹底、回収再生(再製)な啓発!
60	海流によってプラスチックゴミが海岸に運ばれること、それによって魚や珊瑚が死滅している現実を視覚的にまめに訴えていくことが大事だと考えます。
61	とにかく、プラスチック問題の今日性を伝え続ける努力を一人一人に植え付ける発信を続ける。
62	有害であることを視覚的にまめに訴えていくことが大事だと考えます。
63	プラスチックフリーのライフスタイルを行政や市民活動などを中心に教育、普及、啓蒙を継続して行なう。
64	キャンペーンなど。
65	プラが溜まって汚れた海の現実を国民に見せる。

②普及啓発	
66	<p>私は首里に住んでおり、首里城再建の進み具合をこの目で見ながら日々を過ごしています。しかし、首里の街はビニールやペットボトル、弁当ガラ、カップ容器、ゴム製品などのプラゴミが毎日落ちているのが現状です（毎朝ゴミ拾いを行っていますので実感しています）。1853年に首里城を訪れたペリーは「余は、これほど清潔に見える市街を見たことがない。少しのごみもちりも見当たらない、（後略）」（ペリー提督日本遠征記より）と述べている過去とはほど遠い現状があります。目に見える首里城が復元されても、首里をはじめとして島がゴミだらけというのは悲しいと思っています。</p> <p>一方で、この数年内に沖縄県民の注目が最も高まる場面としては、首里城の再建だと思っています。そこで提案ですが、県民の関心が高まる首里城復元という機会を活用した大規模・複合的なイベント（各種展示、学習・体験会、街・ビーチクリーン活動など）を、継続的に環境活動を実践している県内大企業の発信力を借りながら展開するのはどうでしょうか。例えば県内のあるビールメーカーは海洋保全や首里城復興に関するCSR活動を行っていますし、県内のある飲料メーカーは2030年までに全てのPETボトルを100%サステナブル素材に切り替えることを掲げたる「容器の2030年ビジョン」を掲げています。また首里城を管理する財団も環境保全・環境教育・研究を続けています。</p> <p>失礼ながら、行政のイベントは発信力に乏しいと感じています。このような県民に影響力を持つ大企業のアイデアと実行力、そして発信力を借り、かつ注目の集まる首里城復元と絡めたイベントを展開することを望みます。</p>
67	ポスターを作り、「プラゴミで埋め尽くされた沖縄の島のイメージ写真」と共に、このキャッチフレーズを載せる。（ショック療法的に、プラゴミを捨てている人の意識に訴えかけ、罪悪感を喚起する）
68	「美しくない海の写真展」 沖縄の美しい海の写真とごみが打ちあげられた美しくない海の写真を並べ（なるべく同じアングル）、いまそこにある沖縄の海の危機を訴える。室内展示のほか、ポスターなど屋外での展示も可能。
69	捨てる前に、「ゴミの分別化の徹底」を図る。
70	プラが何にどれくらい使われているか見えない。皆がわかりやすく何を減らすべきか一覧できる図表が必要。全部を止めることはできない。何なら代替案を出せるのか考える絵入の図を広く公開し意見を集めるべき。まずはここから。
71	ゴミの問題に関するポスターなどをコンビニや海の近くなどに貼っておく。
72	ゴミを海に捨てぬ様、世界に呼び掛ける
73	シンクの穴の先は海。家庭からプラごみを意識する。
74	目標期間を、1825日と定め、県内で『チュラサンだねオキナワ』を挨拶言葉に定着させ現状からどれだけ自然が復活若しくは美化されたかを検証し、次の展開に繋げる。
75	SDGsをみんなが理解して、意味を守る持続可能な運動に。
76	各県ごとにプラスチック問題解決に取り組むキャラクターを作り、環境課などに配属。県ごとの取り組みの発信やリサイクルしたもからグッズなどの作成。
77	繰り返し家庭や企業、学校等で美ら海を汚すプラスチック類の画像を流し啓蒙する。
78	プラゴミの回収量や再生量などを日々、公表することで、プラゴミの「見える化」をはかっていく。

②普及啓発	
79	プラスチックひろい大会 たくさんあつめたらすてきなグッズとこうかん(貝がらやプラスチックで作ったもの)
80	プラとチックひろい大会 たくさんあつめたらすてきなぐっずあげる
81	自由研究でプラスチック問題をかい決しよう。
③プラスチック製品の使用削減	
1	プラスチックの生産をどんどん減らしていく
2	プラパッケージ製造業は紙か無害素材で儲けて行こう。
3	紙を増やす!
4	ビニール傘をやめて、紙の傘やカップにする。
5	昭和ヘワープ
6	プラスチックを出来るだけ使わない。プラスチックを分別する。
7	マイお箸を持つようにする!
8	プラスチックを使って生活用品を作れるようになると思います
9	自動販売機の削減。電力も要る自販機は便利だが人のためのものでしかない。
10	私が住む亀岡市では、すでに市内の全店舗でプラスチック製の買い物袋の提供は禁止され、市民はエコバッグを使用しています。
11	日本国民に無料でマイバックを配ります、そうすればプラスチック問題の意識が向上します。
12	近隣のお店、自販機でプラゴミを出さない。(食べれるお皿、フォーク、オブラートに包まれたジュース等)
13	保温性の高いパック飲料の開発
14	代替品の製造・活用を進め、プラスチックをつくらせない方向へ
15	ありふれていますが、マイボトル活用によるプラスチック容器の削減。
16	エコバッグの利用などプラごみをあまり出さないよう工夫すべきだと思います。
17	プラスチックを別のものにしてどんどんと減らしていくのがいいと思います
18	レジ袋だけでなく、惣菜向けなどのプラスチック容器でも、使うか使わないかを選択できて、金銭的にも差別化できるようにする。
19	プラスチックの使用をなくしていくしかない、段階的に規制する。
20	消費者側が買わないようにする。
21	お肉のパックを使って、小物入れを作ろう
22	プラスチックを生産しなければ良いと思うけれど、そうもいかないのでしょうか?
23	レジ袋の値段を高額にする。これが一番。
24	飲み物を買う時に、欲しい量だけ自分の水筒に入れて買う。飲み物は蛇口を捻ったら出てくるようにする。
25	昔の生活に戻り、紙とか木でできた生活用品を普段使いすることではないでしょうか。
26	ポケットに常にエコバックがある。

③プラスチック製品の使用削減	
27	マイバックを忘れず持参すること。
28	竹やぶの竹があちこちで困ってる、プラの代わりに竹でできるものは竹で。
29	なるべく紙の包装等をすると良いかも知れません。
30	プラスチックの汚染で海の待った無い、使用しない、買わないを実行したい。
31	工夫して、プラスチックは工夫して、使わない・買わない事。
32	経木などをもっと生産し、プラスチックをなくしていく。特に食品に使うものには経木の普及を望んでいます。
33	まずあまりにも便利に流されている。使い捨てはいけない
34	エコバッグなどをもつ
35	プラスチックの有効利用は勿論ですが、そもそもプラスチックに代わる素材を考えないと
36	石油素材など自然に返せない物は使うべきでは無く造るべきでは有りません。
37	プラスチックの容器を他のものに変える流れを社会に広げたい。
38	急がば回れの精神で、企業側は安易なプラスチック包装を控える。消費者側もプラスチックへの意識を高めて消費行動をして、プラスチック減に取り組む企業を評価して応援していく。
39	プラスチック製品の減産
40	個人の意識の問題である。全沖縄の商店が土に替わる有機質の包装材を使用し、消費者と国が負担し合うシステムがいい。
41	プラスチックに他の材料を混ぜて傘を減らす。(貝殻とか) 食品の過剰包装を感じるので(せんべいとか一つずつ包装されていること) 袋を包み紙に変える。プラスチックを使うにしても、長く使えるように、使い捨てを目的としないプラスチックに関して純度や硬化の値を表示するようにして壊れにくいものを買ってもらうようにする。
42	祖母は戦前の生まれで、プラスチックのない時代を知っています。どう生活してきたか教わっています。
43	アクセサリー作りが流行っているので、ビーズやホログラム素材になるととても助かります。
44	「マイバッグ」をいつも携行しています。
45	「マイバッグ」を普及させましょう。
46	とにかく店の提供完全に禁止かな
47	プラスチックに変わる自然の物を使った物に変えていくことが大事なことだ!
48	日常でプラスチックを選ばないことから。ちりつもです。
49	ペットボトルやビニール袋の削減。ゴミの廃棄を減らす。
50	「スプーン・フォーク」を使い捨てにしない。
51	プラスチックを使わない
52	プラスチックを生産しない
53	プラスチックをつくらない
54	あまりにも小型化にしすぎた結果、何倍にも数が増えることになる。家庭で詰め替える方式にしないと、無限に数が増える。

③プラスチック製品の使用削減	
55	なんでも過剰に買うことは避け、リサイクルプラは必ず専用ボックスに返却したい。
56	レジ袋の利用を有料化から廃止にする。 その代わりにマイバックの持参でなくマイバックのサービスを提供する。
57	放置すれば、プラスチックごみは、自然の美しさを損ねるだけではなく、マイクロプラスチックとなって海を汚し、生き物や私たちの体に悪い影響を及ぼします。また、燃やせば二酸化炭素（CO2）を発生し、地球温暖化を促進する大きな原因にもなり、しいては異常気象の発生頻度が増えて、自然災害を引き起こす要因となる可能性があります。プラスチックごみ対策として、沖縄では、プラスチック製レジ袋の輸入・製造・使用・販売を禁止。企業、店舗などでのプラスチック製ショッピングバッグ、使い捨て容器などの提供を徹底的に禁止します。
58	プラスチック作らない
59	プラスチックを増やさない
60	マイバック等のようにマイ〇〇の商品を増やしていく。
61	レジ袋やストローなどのプラスチックを削減する。
62	なるべくプラスチック製品を生産せずゴミを減らす
63	使い捨てになる物から脱プラスチック
64	プラスチック包装の物をできるだけ持たない買わない。 プラスチック以外で作られたもの包装されたものを選ぶ。
65	便利さを追い求めてきた人間の欲を、そろそろ地球が受け止めきれなくなっている。地球に還らない物は、自然に溶け込まない物は、長い目で観たら、うまく行かなくなることは必然。プラスチックもその一つなのかも知れない。 日常的に、ものすごく多用しているプラスチック製品。 無くなれば、もちろん始めは不便を感じるだろう。でもおそらく、しばらくしたら慣れるもの。それよりも、その代替え品を生み出すことが、本当の人間の知恵だろう。 プラスチックを生産をせず、代替え品に置き換えて行く。生産する際は、リサイクルを必須条件として、最初から考えられているものを！
66	プラスチック製品を造らない
67	値段が上がっても代用できる素材があればどんどん変えていくべき
68	ストローなども麦わらにするなど、過去使っていた素材を再度使うようにする。多少のコストはみんなで分けあおう。
69	よく似合う黍のストロー沖縄に…… 葦琵琶湖畔のある地域ではプラスチック製のストローに代え、地元の葦を使用。脱プラに貢献している。葦でなくても竹でもいいが、沖縄は沖縄らしく「さとうきび」で代替できないか。
70	プラスチック紙に変えて燃やします
71	最近熱や湿気に強い紙製品が、使い途に応じて開発が進んでいますが、もっと身近な物への開発も望みます。
72	牛乳などがプラスチックと同じくらいの強度で、廃棄後も自然に帰ると聞いたので、そのような材料に転換していったらどうでしょうか
73	プラスチックの使用を最小限にすること

③プラスチック製品の使用削減	
74	マイストローは大事ななと思いました。昨今色々なお店が脱プラ対策としてストローを紙ストローにしていますが、以前まで大手コーヒーチェーンの常連だった私は紙ストローの水を吸ったらふにゃふにゃしてしまう感じや、味で、通うことをやめました。友人がマイストローを持ち始めたことで私もストローを購入し、一緒に行ったところ、紙ストローとは違い味も冷たさも食感も損なわず、それ以来持ち歩くようになりました。だんだん使ってくると愛着も湧いてきますし、「マイストロー」を勧めたいです。飲み物を置く店舗のレジ横にあるとより買ってみようという気になると思います。
75	プラスチックから紙に変えたときに値下げをする
76	無料もしくは安値でお茶を飲める場を観光スポットに作る。(水道に直接入れられるような観光スポット) ビニール袋の値上げ エコバッグを売るよりも、紙袋の普及
77	プラスチックに代わる素材で、スプーン、ストロー、フォークを作る。できれば、土に還る素材で作る。
78	貴重品とともにプラスチック類も保管箱に置く。置ききれない場合はその方のみ退去してもらう。
79	世界がプラスチックを原料とする加工品をやめてエコ製品に置換する努力をする。
80	サトウキビをストローがわりにする
81	結論を先に言えば、原材料としたプラスチック使用の「禁止令」である！
82	ギターのピックなら、手軽で、たとえ濁った模様だとしても、それがエコに通ずるものであり、沖縄由来の可愛いシーサーやヘビちゃんのロゴが入っていらっしゃたらブランドして成立します。そして、ギターのピックは、あんなに小さいのに、1枚100円も200円もします。
83	回収の簡素化とプラスチック製品から代替品の開発やマイボトルの使用など！
84	ガラスに学ぶ、プラスチックの減量化、資源化の促進
85	プラ容器を植物性容器に切り替える。
86	マイバッグ持参し先ずはビニール袋から控えます。
87	ペットボトルの飲料などをその他の性質のものを使う
88	プラスチックに代わる材質の採用。
89	魚の餌になる物質で作るしかない。
90	大きな事はできないが日常で意識する。マイバック、ゴミ分別、過剰包装・・・
91	マイバッグとマイ箸を持ち歩く。レジ袋やプラスチックのスプーンやフォークをもらわない。ペットボトルを買うより水筒に入れて持ち歩く。
92	大人でもマイボトルを持つのが当たり前になるような意識拡大とそれを持ちたいと思える機能性とデザイン性を考えれば、脱ペットボトル、またはペットボトルのポイ捨てにつながる。
93	観光施設(ホテル・旅館・ペンション等)、土産物店、コンビニ等での利用に際して包装用の袋などを県固有の植物・紙を原料にしたものに代替えしたうえで有料化して県固有の伝統・文化を県外へ広める。同時にそれを必要としないお客様への資源削減にも取り組む。
94	燃やすゴミを減らす

③プラスチック製品の使用削減	
95	プラスチックの箸やスプーン、フォークなどの使用を店舗側も減らす。
96	プラスチックは、買わない・使わないすぐにも実行を。
97	リサイクルできるプラスチックで特製マイボトルをつくり、地域に配布していく。
98	2回目からは、「詰め替え用」を使用しよう。
99	とにかく世界で出来る事から始めたい
100	なるべくプラスチックが多く使われている製品を買わないようにする。
101	マイボトル用自販機設置と利用者特割
102	学校で提供する牛乳容器を昔のように瓶にする
103	廃プラショップを立ち上げ、アートデザイン、リサイクル品販売などを展開する。
104	<p>ゴミ袋をカゴに</p> <p>スーパーでのレジ袋が有料になった時に問題になったのが、結局袋を買わないといけない問題。今まではレジ袋がゴミ袋になっていたのが、わざわざゴミ袋を買わないといけなくなりその手間がめんどくさくてポイ捨てなどが増えたので、もう「レジ袋もゴミ袋も無くしてしまおう！」作戦です。</p> <p>単純にゴミ袋を無くすとポイ捨てにしか繋がらないし、ゴミを集めてくださる方の手間になるので袋の代わりにカゴを使ってゴミを溜めとき、収集の時にカゴを出してゴミ収集車に移し替えるという方法です。今までとは違い手間は増えますが明るい未来のためにを思うとできるのではないかと思います。</p>
105	紙パックは牛乳用だけじゃモッタイナイ……7月の世界陸上で、短距離走などの選手がゴール後に渡されたのは紙パックの飲み物。あれは水だったのだが、スポーツ飲料でもジュースでも、ペットボトルに代わって、もっと広い分野で使えばいいと思う。
106	やっぱり自然を生かしたものが、がまた自然に還るを基本として製品作りを目指して頂きたいと思って居ります。
107	プラスチックは海洋汚染の元凶である。プラスチックをできるだけ使わないこと。
108	幼稚園児向けのジュースのストローを紙に変える
109	政府方針が明確に発信されて買い物袋がなくなったように、官民を挙げてプラスチックごみ削減のキャンペーンを行うべきです
110	とにかく海水や土に溶解しないプラごみに頼ってきた従来の文明をガラリと変えることに他ならない。地球が減ぶ前に、人類の叡智を出せば不可能なことは無い筈だ。
111	身近なライフスタイルからみて、いかにプラスチック材料を買わない、使わない、使わせない…かを守るかにかかっている。コソコソ（兀兀）がやがて大きなコソ（骨）となるう。
112	出さない、減らす、意識する。
113	要りますか？ひと声かけてプラスチックのスプーン、フォークを出すお店
114	歯ブラシの柄、ボールペンを木の素材にしよう。
115	品物の包装は、通常1回とする。
116	ペットボトルやプラコップなどをマイボトルや紙コップにする活動もエコに繋がっていく
117	沖縄だけでなく、日本全体でプラスチック工場を無くして行き、代替のものにする。



③プラスチック製品の使用削減	
118	ゴミ袋を買わない、あっても使わない。一人一人が脱プラを自覚しながら美ら海を守っていきましょう
119	お出かけはマイボトル持参で……散歩や買い物などにはマイボトルで出かけませんか？と呼びかける。経済的だし、自販機等でペットボトル入りの飲料を買うことも減り、プラゴミを減らすことにつながる。金属製のボトルでもいいし、瓢箪などはおしゃれかも
120	エコバッグを持参しプラゴミは その中に
121	プラスチック加工製品の原料を元から見直し、環境にやさしい加工製品へと「材料イノベーション」をサステナブルに強化すべき。
122	身近なところからコップ、スプーン、容器など生活周りのプラスチック製をすべて紙製に換える。次にプラスチック容器や瓶のゴミ出しルールの徹底をはかる。この生活スタイルを家から家以外にも徐々に広げて実践していく。なによりサステナブルが大事です。
123	マイボトルやマイカップの促進
124	身近な生活で意識をもつ。マイバック、マイボトル、マイお箸、マイストロー ……
125	プラスチック製品の使用に規制をかけること
126	買い物をするときはマイバックを使う。 落ちてるゴミを必ず拾う。
127	ゴミ袋の使用を減らしエコバッグなどを使用する。海に捨てたりしないでちゃんと決められた場所・ゴミ箱に捨てる。
128	マイバックによる買物、レジ袋の削減、マイペットによるペットボトルの削減、分別の細分化収集、リサイクル資源としてのプラスチックの活用を意識がけることが必要だと思います（竹のストロー等の利用も）。
129	コンビニなどでできるだけ袋を使わないようにするとかマイバッグをもつことを心がけて生活する。
130	プラスチックをあまり使わないようにする。コンビニでは袋やスプーンなどを無くす。
131	プラスチックじゃなくて紙など再利用できるものをつくる！
132	ペットボトル商品をビンなどに替えて、再利用をしやすくする。コンビニやスーパーにポイントがたまる回収機を置く。
133	ペットボトルをへらして、自分のマイボトルを使って販売機でのみものが買えるようにする。
④資源循環の取組	
1	再生可能資源を順次切り替える
2	プラスチックは、まず分別をして、リサイクル出来るものと出来ないものに分け、再利用する。また、出来るだけ紙に変えていく。
3	今は化石燃料を使い内地や海外に運び処理しているプラスチック・アルミ再生プラントを県内に開発し完全循環型社会を。
4	プラスチックは再利用をして、定期的に収集をして無駄にせず繰り返し使う
5	プラスチック製品の使用量削減もありますが、その上での使用に対しては、リサイクルへの取り組みを徹底すべきだと思います。
6	リサイクルボックスの拡充、再利用の徹底

④資源循環の取組	
7	子どもや高齢者、視覚障害のある方も分別しやすいよう、ゴミ箱を分かりやすく設置する。例えば点字やイラストを付ける。
8	とにかく、回収と再生活動を広く行う。それが利用する者と生産する者に共に利点となる制度を作っていく。
9	秋田県に住んでいた頃、プラごみも分別する地域に住んでいました(専用の袋があった)。ペットボトルと同様に、沖縄県全体で取り組むべきだと思います。
10	スーパーのポリ容器と袋をすべてバイオマスにする。
11	マイクロチップを出さない様に固化し、それを使用して再生品化の循環を作り出す
12	きちんと分別！分ければ資源になります。
13	バイオプラスチックの活用。特にマスク。
14	一人ひとりがプラごみの正しい処分方法を守ること
15	再利用
16	プラスチックをどうしても使わなければならないのなら必ず捨てる時に分別する。
17	使用したプラスチック製品を再生して利用できる工場をたくさん作ることです。
18	学校だけでなく企業でも定期的に廃品回収のように集める機会を作ってみるのもいいかもしれません。
19	宅配等で使われるプラは増える一方です。用途に応じてバイオプラにすべきです。
20	絶対量の削減や自然に戻る素材を使った製品の開発。捨てずに回収再利用が大切です。
21	観光客はもちろん、島民もゴミの分別を徹底的に行う。
22	プラスチック商品のリサイクルショップを多数作ります。
23	使ったプラスチックを使ってビルやお家を作る。2050年に魚の量を超えるぐらいプラスチックゴミがあるならどうにかできることだと思う。
24	分別を細かく行う
25	プラスチックに限らずゴミの分別に関する地域の活発な活動が必要
26	買ったプラは、責任をもって処分する。
27	要らない紙を回収するBOXみたいにプラスチック回収BOXを作る
28	ボランティア活動・みんながゴミの分別をしっかりとやる
29	ゴミ分類を正しくシンプルな仕組みにする
30	一人ひとりがプラスチック商品は仕分けしてゴミとして出す。
31	ごみの分別をしっかりとって、プラスチックペットボトルはちゃんとごみ箱に捨てる
32	みんなエコバッグを持参したりリサイクルをする
33	リサイクルする
34	プラスチックをリサイクルできる場所をショッピングセンターや、自動販売機の横などに置いて手軽に入れられるところを増やす
35	製造者の製造後の責任を明確にする
36	リサイクルすると、お菓子など生活に必要な何かをもらえちゃう！

④資源循環の取組	
37	プラスチックの必要性を考え、上手く再生加工を出来き更に新しい商品となって循環するのが理想では無いかと思えます。
38	再利用を徹底する
39	プラスチックを使用する時にはプラスチックごみを出さないこと。
40	分別とプラに代わる容器を開発したい。
41	分別をきちんと実行しましょう。
42	3Rのうちでもリユース、リサイクルに向けた回収の徹底がもっとも重要だと思います。
43	使用済みプラスチックの回収方法の見直し
44	<p>プラゴミを燃えるゴミと一緒に捨てるのではなく、プラ製品(容器や包装、ペットボトル等)を集め、指定の場所へ出します。</p> <p>その際は、リサイクルへ回せる様中身を綺麗にする事等の規定を設け、適切に持ち込めば、重さ換算などで県もしくは市独自のポイントが付与される、または市の指定ゴミ袋をもらえるとすれば、今までゴミとして出していたプラスチック製品に価値が生まれると思えました。</p> <p>(ポイント利用には、県内(もしくは市内)の飲食店で使えたり、未来チケットを購入する事が可能で地域にも貢献できる)</p> <p>今まで捨てていた物に価値とお得感が生まれれば、ゴミの分別をする人が増え、ゴミとして出す事が減り、ポイ捨てもなくなり漂流ゴミも減らせると考えます。</p>
45	プラスチックリサイクルの最先端技術をもつ工場を沖縄に誘致する。
46	地味で当たり前な事だけど、既に散乱しているプラスチックごみを、曜日や時間を決めて、みんなで協力して集めて捨てる事。
47	再生可能なものの開発。捨てる場所の限定。
48	減らす。分別で資源にする。
49	3Rの推進
50	代用できる部位は限定されますが、プラスチックのビスやリベットなどがあればリサイクルの幅が広がるのでは?と思えます。
51	まずは、捨てない、拾う、リサイクル だと思います。
52	プラスチックの回収場所を倍増させること
53	ゴミの分別をしっかりと実行しましょう。
54	海洋汚染問題のプラスチックはゴミにしないで分別し資源としたいものです。
55	シャンプーやトリートメントなどは硬化プラスチックにするようにする。
56	一度の使用の資源捨ては無駄、リサイクル利用しましょう。
57	資源の有効利用を考えよう。
58	ペットボトルの表面に3R(リデュース・リユース・リサイクル)を表示してもらおう。または、シールを貼る。

④資源循環の取組	
59	リサイクルをすすめているお店に持って行くことから始める
60	選べば資源、捨てればごみ。仕分け分別を真剣にする。
61	分別をしっかりとリサイクルで蘇えらそう
62	ゴミ箱の設置、回収の予算制定
63	捨てるよりプラスチックの再生利用を増やしたい。
64	選んでリユース、リサイクル、資源に、焼却。ごみとしては最小に。
65	小さな事でもごみを減らす、出さない、資源として活用する。
66	呼びかけをする。資源を大切に。リサイクル（再利用）
67	砂浜にペットボトル専用の容器（網目のもの）を設置する 100円ショップで流れているペットボトルエア抜具を設置する（持って帰られる恐れがあるのでクサリを付ける）
68	リサイクルを様々な場所ですいしんする。
69	3Rを改めてもう一度見直してできているのかチェックをする。できていないところがあったらなおす。
70	道をおいているとペットボトル自体はおちていないのにラベルやキャップが土に埋まっていたりするので分別して捨てるというのを習慣にしてほしいと思う。
⑤クリーン活動の推進（海洋ごみ対策）	
1	ビフォーアフターじゃないが、清掃前後のフォトコンの実施
2	ゴミ拾いするボランティア団体が、成果発表や、お互いに表彰しあう sns、コミュニティ。
3	定期的な地域の清掃活動が効果的だと思います。
4	沖縄の海辺に落ちているゴミを拾うと、スマートフォン向け位置情報ゲームアプリのように、スマホと連動して沖縄のゆるキャラがゲット出来るようにする。
5	廃プラでエコバッグを作り、空きペットボトル数十本と交換するとか、清掃活動参加者にプレゼントするというのはどうでしょうか。
6	こまめな海岸の掃除。 根本的な解決として、3Rの徹底。
7	ビーチクリーン活動の機会の増加
8	有名人と一緒にゴミを回収するイベントを開催してゴミの数や重さで握手とか写真撮影ができるという条件でイベントをやる
9	月1でもいいので、各地域で海を掃除する
10	海や浜辺にあるゴミを集めるイベントをする。
11	「プラゴミ・ゼロデー」又は「プラゴミ・回収デー」の設定 理由・・・毎月1回(第1土・日曜日など)程度、全島の市町村ごとにプラゴミを回収する日を設定し、掃討する。 特に、観光地としての沖縄県の場合、海や海岸のプラゴミ汚染が深刻のようであるから、この点を市町村単位で柔軟に対応できるようにすることが大事である。 また、その成果として、県は、市町村毎の人口1000人当たりのプラゴミ収集量を公表して、成績優秀な市町村を表彰するなど、表彰制度も県民の励みになると思う。

⑤クリーン活動の推進（海洋ごみ対策）	
12	皆んなで協力していき海を綺麗にしていく
13	1ヶ月に2回ボランティアで砂浜等を清掃
14	小学生の頃から、ボランティアなどに触れる機会を増やすために学校での取り組みでビーや近所にある海の掃除などを年に一回でもいいから行うことが大切だと思う。
15	地域でゴミ拾いを実施する（商品などがあると参加人数増えそう）
16	ゴミ拾い
17	リサイクル、呼びかけ、ビーチクリーン
18	ボランティア活動としてゴミ拾い運動を実施している地域もありますが私も含め、活動に参加している学生は少ないと思います。なので学校の授業の一貫として年に数回、海や学校周辺、地域などへゴミ拾い運動などを行う取り組みもいいかなあとと思います。
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラ喰い豚ロボの開発①陸上版</li> <li>・プラ喰い魚ロボの開発②水中版</li> </ul>
20	シーガードのキャラクターを考え、美ら海の日を作りイベントを行う
21	地域の学生や団体が参加できる「プラごみ回収大会」を定期的で開催して年間チャンピオンを決める。表彰や賞品あり。大会をマスコミや市の広報等で宣伝し地域になくってはならない大会として周知・定着させていく。可能であれば大会マスコット等も考案して活用。
22	月に一回の決めた日に海ごみ清掃活動の日を決めて、親子で参加することによって、子供たちに大人として姿勢を見せることから進んでいければいいと思います。
23	出てしまったプラスチックごみは、「とにかく、出来る人から、日にちや時間を決めて、プラスチックごみを積極的に拾い集めることに尽きる。
24	企業や学校の屋外の清掃活動でプラゴミを集めた量により表彰し自転車や本等の副賞がもらえる
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5G や IoT 等の新技術を使って、プラスチックを追跡、責任の所在をはっきりさせ、処理させる</li> <li>・無数の AI 搭載無人ドローン（水中・潜水・空中・地上）を運用、プラスチックごみを自動収集、処分</li> </ul>
26	河川から海に流れない工夫が必要かも
27	海などに溢れ出しているプラスチックの回収の頻度増量や活動年齢幅の拡大を行う。
28	海の家？的な場所をもう少し増やして、ゴミを回収しやすい場所をもっと増やす
29	観光のイベントとして、海岸でプラスチックごみを拾うという活動をしたらどうかなと思いました。ゴミ拾いと共に、地元の人のみが知る海のスポットに案内するなどの特別な特典と合わせたら参加者が増えると思います。
30	海の環境改善顕彰制度（仮称「プラスチック回収功労賞」等モラルアップ策）
31	海を定期的に清掃するのがいいのかも
32	自らボランティアに参加するように呼びかける
33	まずは海中のプラスチックゴミの処分が、直近での問題と思う。 海水に反応するプラスチックを造ることと思うのですが、1つ1つの解決から生きていく上で解決策を考えましようかね。

⑥ポイ捨て・不法投棄対策の強化	
1	プラスチック専用のごみ箱を沖縄県各所に設置したらどうでしょうか。
2	街中のゴミ箱が非常に少ない気がします。 増やす為の工夫として、デザイン性の高いゴミ箱を増やして街の雰囲気を壊さないようにする、テロ対策で設置しないという理由であれば透明なゴミ箱にするなど工夫をすれば良いと思います。
3	海辺にプラスチック用のゴミ箱の設置。(60～70メートルおきに) 地元の小中学校で管理。子供心にゴミは捨ててはいけない意識を肌で感じてもらうため。
4	入場料を取ってごみ袋の配布、ゴミ箱の設置、自治体独自のポイ捨て罰金制定。近隣のごみ出すテイクアウト店舗にはごみ回収の取り組み義務。自販機を設置しないもしくは設置するならごみ回収義務化。
5	ゴミのポイ捨ての罪を今までよりもっと厳しくする
6	街中におけるプラスチックリサイクル用の回収箱の増設
7	ゴミはゴミ箱に！
8	プラスチックをなくすことは無理だと思います。ただ消費を抑えたり、ポイ捨てを抑えることはできると思っています。 ペットボトルの蓋の裏やカップラーメンの蓋の裏などに「捨てるな」「環境大事に」等の文言を付けることを義務化すると良いと思います。
9	日本だけではなく、他国もまきこんで、ゴミの不法投棄の防止
10	海岸沿いにゴミ箱、ゴミ捨て場を設置。 捨てる場所がないので、海に捨てると思う。 缶、ビン同様にペットボトルリサイクルでお金が発生する制度を作る。
11	ゴミを捨てる人に罰金強化
12	海岸にごみ箱を設置。及び溶けてゆくプラスチックの開発。
13	ゴミを無くすための器具を砂浜や防波堤などの、周りに設置箱として置き、山であっても海であっても、人が捨てて置いといたゴミや付近のものは片付けられるようにするアイデア。
14	ポイ捨てに罰金を課す。
15	学生時代にモルディブの観光ガイドブックを読んだことがあります。そこにプラスチック問題解決のヒントが書かれていました。モルディブに往来するドイツの航空会社が観光客にゴミ袋を配布して、ゴミを持ち帰らせるということをしていました。 沖縄県は観光で経済が成り立っています。綺麗な海を守ることが何よりも大切です。やはり観光客にゴミを持ち帰らせることが必要だと思います。せめてホテルまで持ち帰らせるように出来れば、前進です。私は航空会社かホテルがゴミ袋を配布して回収することを提案します。
16	生活環境から出る廃プラの100%回収の他に、観光客が出すプラごみには罰金を科す。罰金を科すことを条例化し、県民や観光客に徹底するキャンペーンを打つ。
17	ゴミ箱の設置、あるいは増設。観光客が多い場所は10m くらいの間隔でもいいかもしれません。
18	月に一回海にあるゴミを掃除したり、ゴミを捨てないようにゴミ箱を設置したりする
19	ペットボトル回収の箱を町の各地に設置する

⑥ポイ捨て・不法投棄対策の強化	
20	ポイ捨てしない
21	海にゴミを捨てる考えをやめるようにする
22	一人一人がポイ捨てを辞めさせる。プラスチックを作らない。
23	海に行ったら自分の出したゴミでなくても持ち帰る。
24	ポイ捨てに関するルールをもっと厳しくする
25	自分で使った物は自分で捨てる
26	単純にゴミをどこにでも捨てない
27	ポイ捨てを捨てないようにする
28	不法投棄の取り締まり、罰則をもうける。
29	海に大きなゴミ箱設置する。ゴミの持ち帰りを呼び掛ける。一月に一回位にゴミ拾いする。
30	プラごみを捨てやすいよう、廃棄場所を増やす
31	プラゴミを捨てやすい再利用につながるゴミ箱が街にあったらポイ捨てがなくなると思う。
32	分別できるゴミ箱（燃えるゴミ／ビニール袋／ペットボトル、など）を各海水浴場に置くようにするのはいかがでしょうか。家庭ごみが置かれる懸念もありますが砂浜にゴミが放置されるより良いかと思えます。
33	街にプラ製品の回収箱の設置を。
34	プラごみを捨てやすい環境を作る、例えばゴミ箱を増設するなどの工夫は必要かもしれません。
35	浜辺に「あなたは、プラスチックでできたビーチに寝そべりたいですか？」と書いた看板を立てるのはいかがでしょうか。
36	根本的な解決にはならないですが、散歩等をしている時に捨てる場所がないと海に捨ててしまうということがあるかもしれないので、海岸にゴミ箱が設置されていたらいいかなと思いました。
37	個人や団体でビーチクリーンをしたゴミの無料回収ゴミ箱の設置、または専用回収袋の配布
38	特に捨てられることの多い河原や海岸にリサイクルボックスをもっと増やす
39	分別ゴミ箱の設置と、ゴミ箱に入れられた際にシーサーからありがとうの音声を聞けるようにする。
40	自動販売機の横にリサイクル用のゴミ箱を作ったり、プラスチックと海に関するポスターが目に入るようにする。
41	楽しい仕掛けがある回収ボックスはどうでしょう。
42	「いろんなプラにマイネーム」運動の推進
43	砂浜に海洋生物を描いたカラフルなゴミ箱を設置。ゴミを入れると「ありがとう。」と音声が流れる。
44	シンガポールの美化施策のように違反者に罰を課す（有料対価）のも一方法。
45	ゴミは持ち帰りが基本です。少しの手間でできることを重ねていくことが大切だと思います。



⑥ポイ捨て・不法投棄対策の強化	
46	ゴミのポイ捨てに対して、シンガポールみたいに高い罰金を課す。 技術的に可能なら、防犯カメラにポイ捨ての動作が写ったらチェックされるようにする。
47	ポイ捨ての罰を重くする。一般市民でもその状況を動画で録り証拠を残すことが出来れば、警察は人物を特定し（車のナンバーなどで）令状をだすことが出来る等。一発で前科持ちになる、くらいの重さが必要。
48	皆が町にごみを捨てない様心がける
49	監視カメラの設置、ポイ捨て取り締まり・罰金の設定、警備配置
50	定期的にゴミ拾いのイベントを
51	現行犯は、直ぐに多額の罰金を徴収する。
52	シンガポールのようにペットボトルの投げ捨て等に罰を課す（効果はともかく）。
53	プラゴミを見たら拾う。
54	不法投棄に厳罰を科すこと、それを周知徹底する
55	プラゴミを海に捨てない
56	回収・監視ボランティアの募集と配置
57	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動をする</li> <li>・注意掛け、看板などを立てる</li> <li>・海近くにゴミ箱を設置する</li> </ul>
58	ゴミ箱やプラスチック類のリサイクルできる箱をおいておく。
59	規制強化・1人1人の行動
60	ポイ捨てを避けるために、コンビニ以外にもゴミ箱を用意してもいいかなと思います。
61	少しでも減らすためにプラスチックのようなゴミ箱をいたるところに設置する。
62	各海や港にゴミ箱の設置を。
⑦ブランディング	
1	不便な生活がかっこいいと考えられる世の中に。キャンプが流行るのなら、生活の中でプラスチックを使わない不便も楽しめるのでは？プラスチックのない生活を映えにする。
2	再利用しやすい商品にすることとゴミを捨てやすい、しかも3Rしている実感をもてる街にする。
3	上記と被りますが、プラスチック用のごみ箱（ペットボトルなど）の名称を「ゴミ箱」とするのではなく、バトンボックスなど次代につなぐ印象の名称に変更するなどはどうかと考えております。
4	空港などで観光客の方々に、リサイクルや環境保全マナーに関するテストを実施し、合格できるまで入島できない決まりようにしてはどうでしょうか。少しは意識が高まるかと。。
5	養殖ではあるがマイクロプラスチックに苛まれない魚介類ブランドを沖縄県から世界に売り込む。
⑧推進体制の構築	
1	日本国内だけではなくプラスチックを捨てている外国との連携を図る。
2	プラスチックが悪ではないと思っています。画期的な技術なので未来に繋げたい。なので自然界に安心安全に分解される素材のプラスチックの開発。

⑧推進体制の構築	
3	自然に戻る素材の容器の開発、普及を目指す。
4	プラスチック活用アイデアを募り、製品化。行政が取り持ち、消費者の企業のウィンウィンの関係強化を図り、資源削減・活用を目指します。
5	木を溶かしたセルロースで成型するプラスチックの推進、開発
6	間伐材使って作ろう自然に優しいプラスチック
7	やはり技術革新を持って、再生及び自然に帰る、即ち微生物によって分解する特性を持ったプラスチックを安価に普及する事も、紙容器と並行して行われる事を期待しております。
8	外国にも呼び掛けて海に捨てないようにするのと、定期的に掃除する
9	植物由来の原材料で、バイオ・プラスチックを作る。
10	環境には無害でプラスチックだけに特化した分解バクテリアの培養、活用
11	海水に一定時間浸かると溶けて無害になるようなプラスチックが開発されないのでしょうか。
12	国を挙げて(地球を挙げて)、プラスチックを腐食させる技術の開発に総力を。併せて、個人は代替品を使うこと(プラスチックを使わないこと)に尽きると思います。
13	サトウキビがバイオ燃料になり得るように、これまで大量に廃棄されていた物を素材の可能性という観点でフォーカスし、産官学で、自然に優しい素材を作り出していく。
14	プラスチック製品を再利用を考えてつくる。また、ポイ捨てをしてしまわないようにゴミ箱を設置して再利用されていく過程、課題などを社会で共有する。
15	サーマルリサイクルで化石燃料の使用が減るので、CO2削減の問題は別問題として考えた場合バイオマス発電のように燃料として活用できると思います。
16	プラスチックを燃やしても有害物質の出ない技術。
17	マイバッグ持参によって消費税率を下げてもらえたら、環境も改善され、消費者側も嬉しいですよ。(8%を7%、6%程度でも嬉しいですよ)
18	プラスチックから可燃ごみに変える工夫を企業がすべき
19	やはり植物性プラスチックに開発に尽きる
20	プラスチック製品に鉄粉を混ぜて磁石にくっつくようにすれば、楽に集められる。
21	プラスチックを主原料とする次世代型の発電設備をつくる。
22	イデオネラ・サカイエンシス(PET分解細菌)の研究
23	プラボトルの便利さにはさからえない。内容物とプラスチックの劣化速度の調整を利用できないだろうか。
24	10年も経てば自然に還れるような製品を作って欲しい。
25	自己分解消滅性プラスチックを補助金を出して、普及させる。
26	「三人寄れば文殊の知恵」、有効なアイデアをかんがえましょう。
27	途上国にプラゴミ燃焼させるように援助かな
28	お米でできたストローというものがあるように、そういったもので何か作ることが出来たらいいんじゃないかと思いました。

⑧推進体制の構築	
29	お花のアレンジメントに使われるオアシス土台はプラスチックと同じ原料ですが、茎を刺した穴は塞がらず、特段他の用途も無い為大量に使い捨てになっていると思います。原料を寒天のような海藻等で製造し穴を簡単に修復出来る（または製品が自ら修復）オアシスが出来れば、無駄な廃棄が減ると思います。他にも乾燥ヘチマのような植物を原料とすれば、繊維で花々の茎を固定しかつ穴が塞がりやすいオアシスが出来るのでは、と考えます。
30	マグネットを混ぜ込んだプラスチック製品を普及させる。自然と集まるし、海での回収も磁石の曳航で容易である。
31	プラスチックを食べる（処理再生）キャラクターロボットの設置。
32	プラスチックを用いずに紙などでストローなどを代用するための援助を県や政府が積極的に支援する。また、海水浴の砂浜でのゴミ分別の厳格化。
33	オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書がいい先例です。
34	自然由来素材（竹、木、葉等）活用促進の日制定
35	目に見えないマイクロプラスチックを集める方法、出さない生活を構築する。
36	直ぐに不使用を世界へ向けて発信して行く。宣言都市をつくる。
37	スーパーのマイバスケット（いわゆるマイカゴ）を広めます。古くなったものは、お客さんが購入した額でスーパーが買い取るシステムにします。レジ袋も減り、カゴの廃棄も管理されます。
38	プラスチックに代わる環境に優しい製品の開発と個別包装を少なくする。
39	無害なプラスチックを願いたいものです
40	大手のコンビニエンスストアと提携して、持ち帰り用のコーヒーを販売する際に、折り畳み式で持ち運びのできるタンブラーを持参した人には割引で提供するようにする
41	プラの種類を簡易的に測定する機械があるので、自分で調べる『好奇心』が生まれるのでは。
42	自然に溶ける素材の、更なる開発を期待しています。
43	マイバッグならぬマイプラスチックボトル、ボックスを持参させる。持っていないときはマイバッグより高額の料金をとる。醤油やジュース、煮物などなどあらゆるものを店側は量り売りにする。
44	コンビニなどで、スプーンなどをつける時は、袋と同じように金額を定める。
45	釣糸など分解される新素材製品の開発
46	食べられるプラスチックの開発（食べても害がない）
47	コンビニなどで、プラスチックのスプーンをつける際に金額がかかるようにする。
48	携帯ゲームと連携して、ペットボトルをリサイクルに出すなどで、自分のキャラクターが成長していき、敵を倒す、恋愛ができるなどといったアプリケーション。
49	プラスチック製レジ袋の使用や利用、販売などを徹底して禁止し、優良な企業や商店には、「ちゅら島 ノンプラスチック環境マーク」の表示章を提供し、沖縄の海や街から、プラごみ削減を目指します。
50	プラスチックに替わる物の開発と回収箱の増設

⑧推進体制の構築	
51	レジ袋→エコバッグに移行したように、個人では、可能な限りマイボトル持参を推奨。推奨運動を広く展開する。飲料メーカー(企業)では、ペットボトル削減→紙パック、アルミ缶ボトルへの移行の取組を実施。その取組にかかる費用を行政が負担し、その取組を実施している企業を表彰する。
52	植物などを原料とした容器の研究、開発を国や企業などが連携して進める。
53	ポイ捨てが多い場所にはプラスチック専用のごみ箱の設置の増加、リサイクル等の協力をSNSから発信、海や砂浜で拾ったプラスチック容器のグラム単位での買取等。
54	プラスチックから再生した、使い勝手が良くかわいい商品の開発アイデアを、県民に広く募集し、大いに支援して商品化して格安で販売し機運を高める。
55	プラスチックの代替素材の開発のための寄付金を募る
56	プラスチックでない包装資材等を開発する。
57	天然由来プラスチックの拡大のための低コスト化
58	日本は、発酵大国で有名だ。その発酵大国の威厳を微生物分解型高分子で実証して欲しい
59	プラスチックを分解する酵素の実用化を早くしてほしい。
60	コンビニやスーパーで買った後に、ペットボトルの回収は一本5円とかお金を払えばいい！絶対に回収率が上がる。そうすればプラゴミは減るし、資源として活用もできる。海もよごれないです。
61	昭和後期にはビン類をお店が回収して数十円を返金してくれました。ペットボトルもそうしましょう。良き昭和を学びましょう！温故知新といいたいでしょうか、資源の良循環にむけて確実な一歩がだせるのではないのでしょうか。
62	人類も減ばしかねないプラスチックに、プラスチック防衛予算を。
63	新しいプラスチックの研究にもっと予算を出して！
64	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水に溶解、無害化するプラスチック素材の開発（開発費の助成）</li> <li>・回収プラスチックの資源化、燃料化技術開発（開発費の助成）</li> </ul>
65	アイデア、研究、発明などには、しっかりお金をかけてもらい、もっと沢山のアイデアを出して行くこと。
66	バイオプラスチックの研究 開発
67	植物から作る紙のように、自然消滅するプラスチックを補助金を出し開発普及させる。
68	プラスチックを改良して新たにプラスチックを作る
69	プラスチック商品の改良
70	消えるプラスチックの開発
71	材料を特殊な加工を施すことによって大概の容器はプラスチックから置換できるし、かなり多方面でその成果（例：牛乳やお酒類の紙パック、紙製スプーン etc）が見られる。これをもっと技術の精度を高めて応用範囲をひろげ、原材料をプラスチックから紙製、あるいはハイブリッド型に置換できるような技術革新が急務。国が奨励施策を打つべし。
72	プラスチックの代替品の開発
73	生分解性高分子の中でも、最も分解されやすいのがポリグルコール酸である。
74	プラスチックリサイクルに補助金や利用者の意識改革を進める。

⑧推進体制の構築	
75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック循環を世界規模で実施する国際機関、国際基金を創設、国境を越えた協力体制でプラスチック循環を</li> <li>・「プラスチック循環五か年計画」を策定、各国政府や企業にそれぞれの目標を達成させる（目標策定→実行→検証→評価→再実行のシステム構築）</li> </ul>
76	役目ごとに、自然分解自然消滅する時間は異なっても、最終的に自然にもどるプラスチックを補助金を出し開発普及させる
77	プラスチックを利用し作製している企業はプラスチックを分解しやすくするよう取り組みを促進する。
78	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋環境保護特別国債（利率0%かマイナス）を発行、プラスチック対策に特化した予算とする</li> <li>・プラスチック対策のクラウドファンディング（仮称「美らの海ファンド」）を立ち上げ、篤志家から資金を集めるとともにPRに資する</li> </ul>
79	プラスチックをとかしてげんようか。
⑨制度の導入と活用	
1	プラスチック製品に撤収（回収）費に充てる税金を課す。
2	県内への対観光客への、500円/一名の『沖縄の自然を蘇らせる基金』として頂くことで県としての取り組みを、国内・海外へアピールし、強力且つ着実に推進する。
3	プラゴミ返却でポイント還元等の特典
4	今世界中で導入されているペットボトル/空き缶/瓶/を収集するマシンをスーパーの一角等に設置して、お客様自身が投函。入れた種類や重さに応じて換金やクーポンを発行する。収集され自動的に分別された資源ゴミをスーパーや自治体が業者に売却する流れ。ゴミが直接お金やクーポンになるので積極的にゴミを拾う人や分別する人が増え、ポイ捨ても減る。
5	ポイ捨て条例の強化。
6	これはもう、植物由来に転換するしかない。量り売りにしてポイントを付ける方法で浸透を図る。
7	専用ゴミ箱にプラスチックごみを正しく分別して入れると、メダルがもらえて、50枚貯めると「美ら海グッズ」がもらえる。
8	観光者へゴミ拾いエコバッグ配布。 ゴミを拾ってくれた方へステッカー等と交換するプレゼント場所設置。ステッカーを飲食店等で提示すると受けられるサービスの提供。
9	海の近くや、自販機の横などに専用ボックスを設置、燃えるゴミ、燃えないゴミ、缶、瓶、プラスチックなど。ゴミを入れるとその分だけスマホにクーポンや、ポイントがもらえるようにする。
10	ペットボトルなど一定数のプラごみを専用ポストに持ってきた人がいたら、WAONポイントなどとポイントと交換するシステムを作る
11	プラスチック分別ポストを作って、そこに廃棄するとポイントがもらえる装置を、海や浜の要所に設置します。
12	全面禁止、特例として生分解性プラスチックのみ許可をする。
13	プラスチック使用税を導入して財源を確保し有効な活動に投資する。
14	マイ箸を持参した客に行政の補助による割引やクーポン券の発行を店が行う。

⑨制度の導入と活用	
15	空き缶を集めたらお金になるのと同じように、プラごみを集めたらお金と交換してもらえる仕組み(施設)を作る。資源ごみの日に、街を回って空き缶だけを持ち去る人が後を立たない現状から思いつきました。プラごみにも価値を付けることで、不法投棄が減るのではないかと、価値があるならゴミを拾おうという人が増える＝海や街が綺麗になるのではないかと考えます。
16	商品購入から“指定時間内にリサイクル用ごみ箱に捨てると”商品やお金、ポイントが戻ってくるシステム (ルーレット、くじ引きなど一定確率で戻ってくるシステムでも良い※遊び感覚でやれることが重要) スマホアプリを使って行うことを想定  例えば、自販機でペットボトルの飲料水を購入して 15分以内に指定されたペットボトル用ごみ箱にいれたらルーレットが行えて、当たりができれば次回1本無料など。
17	プラごみを買い取り重さに比例して電子マネー、現金、商品券などになる。
18	生物分解型プラスチック使用製品やプラスチック使用低減した企業名を公開する。ノープラマーク。
19	プラスチックを使用しない選択にインセンティブを(ポイント、現金還元など)
20	プラ製品の取り扱いが少ない店に助成金をあげる。
21	企業はプラスチック減少に向け色々なアイデアを考え、実践しています。良くないのは便利さに甘えプラスチック製品を多々受け入れている消費者です。消費者負担の増大！自身の負担増となれば必ず使用量は減ります。(交通違反の罰金増と同じ) 多少の負担増はやむなしの時ではないかと思うのですが・・・。
22	リサイクルポイントなどあれば積極的にリサイクルするかもしれない
23	プラスチックゴミをリサイクルすると商品券や特産品などがもらえる還元制度を作るとゴミは減ると思いました。
24	プラごみを回収すると県内で使えるお得なクーポン配布。
25	各市町村にリサイクル STATION を設けて、そこにプラスチックを持ち込んだらポイントが貯まって、エコな商品と交換出来たり、子供たち向けの商品や景品も用意して、ペットボトル持ち込んだら同じくポイント貯めて好きな物と交換出来る！等、ポイ捨て防止の為に事前予防にもなりますし、「ポイ捨てじゃなくて楽しくポイ活(ポイント貯める活動)しよ！」みたいな楽しいから持続可能で、ゆいまーるサーキュレーションで、SDGs だと私は考えます。
26	プラスチックを回収した分だけポイントを付与します。家庭のみならずポイ捨てを拾ってもポイントが貯まればかなり回収出来ると思います。
27	マイボトル補助金
28	レジ袋をもっと値上げすればどうですか。
29	企業側に引き取り率アップ
30	集めたプラスチック量でポイントが付くサービスを実行させる。
31	プラスチック問題に対して罰則規定を設ける

⑨制度の導入と活用	
32	スーパーやコンビニのゴミ袋やストローの料金を高くする。 発泡トレイをスーパーに持って行くとポイントがつく。 シャンプーや洗剤が海外のように専用のボトルを購入すると何回も買える仕組みを作る
33	プラスチック分別ポストを作って、そこに廃棄するとポイントをもらえる装置を、海や浜の要所に設置します。
34	プラスチック税
35	プラスチックのリサイクルショップ♻️を増やして換金できるようにする(小さい子などはお菓子を买买たりするためお金が欲しくなりゴミを集めてそこに行くようになる) これからは物価も高くなるので小銭稼ぎにはいいのかと思う。
36	プラスチック製品をとことん減らす。また、プラスチック製品を買う時に払うプラスチック税を作り、その税収は環境保護の活動にあてる。
37	プラスチックゴミを集めてリサイクル施設に持っていくとポイントを貰えて、そのポイントはお買い物に使えるシステム
38	政府が補助金を出して、全てのプラスチックを自然にかえる物にしていく。
39	外国からの漂着物のペットボトルは、国ごとに引き取りに来てもらって、量によって迷惑料も払ってもらってはどうかと思いました。
40	プラスチック以外の再利用可能な代替材料を使用する企業には、税金を優遇する等の国策が必要と思います。
41	プラ製品以外を使用する企業など資金を援助する
42	リサイクル用の分別箱の設置とお買い物ポイントのようなポイント制にしてみても。
43	いまやポイント取得社会、ペットボトルなど回収ゴミ箱をレジヤードに設置し、回収箱に入れたらポイントがスマホに付くとしたら、ゴミも海、川で無くなると思う。
44	いくつか集めたら景品と交換または換金
45	根本的な解決策ではないが県民も観光客も今すぐすぐできる対策 「店頭でペットボトル飲料をマイボトルに詰め替え。ペットボトルは店頭で客が分別。ポイントや割引還元。分別ごみはパワーアップしたリサイクルシステムへ」
46	プラスチックをリサイクルするともらえるものを多くする。
47	容器を返却したりしっかり捨てた時には10円くらい返却されるようにする
48	現状プラスチック製グッズを紙や生分解性製品化する企業に補助金を
49	プラゴミを回収して持っていけばポイントがたまるアプリ
50	ゴミを分別し、正しく処分すればポイントが貰える。ペットボトルや缶など、スーパーでは既に実施しています。すべてのプラスチックが帰る場所を作って欲しい。
51	台湾のように買い上げたほうが良いと思う。 アルミ缶やスチール缶は業者が買い取りをするから集めて売っている人もいる。 部活動の資金にしたり、カラオケ代にしたりしていると聞いた。楽しみながら出来る事が続けられること。そこにプラボトルも加われば巷にプラボトルが散乱することはなくなるだろう。観光立県、世界で一番美しい島を目指し是非プラボトルの有料買い取りを実現して欲しい。
52	プラスチックボトルを有料とし、ボトルを回収ボックスで返金のリサイクル

⑨制度の導入と活用	
53	竹で出来たプラスチックなど自然に変える素材を導入する企業に補助金を出す。
54	プラスチックの回収に公費を使うといいと思います。国や自治体の負担割合は後で考えると、具体的には回収したプラスチック量に対して資金を渡す案ですが、昔は瓶の回収で10円、30円がもらえたと父が言っていました。費用がかかるようであれば、結果的にはプラスチック汚染を防ぎきれいな海を取り戻すよりはとて安くできると思います。
55	船や飛行機でプラスチック製品を持って沖縄県訪れる時、沖縄県民以外の方は、1アイテムにつき税金をかける制度。 どの自治体もやっていないと同時に沖縄県はそこまでの気概がある、当面の財源になるので。
56	プラスチック製品を生産する企業には多く課税するが、脱プラスチック製品を採用する企業には税を優遇する。またガソリン税のようにプラスチック税を設けて消費者に課税し脱プラスチック製品のほうが安くして消費者ができるだけそちらを購入するようにする。いずれにしてもそのような動きを作る国策が必要だと思います。
57	使い捨てプラスチック容器を代用素材に変更した飲食事業者に奨励金を支給する
58	プラスチック製品に0.01%のプラスチック税を。
59	プラゴミ拾ったらポイント貯まる
60	ツアーを兼ねた廃プラ回収ボランティアを募集。日本中からあるいは海外から人を沖縄に集め、1回の旅行につき半日のボランティア活動を実施した観光客に、県や観光協会が宿泊費の一部（例：一日の宿泊費の50%）を負担するキャンペーンを企画する。
61	漂着物のペットボトルは、その飲料の会社に引き取りに来てもらって、量によって迷惑料を払ってもらってはどうかと思いました。会社の責任にするのは申し訳ない気もしますが、その会社の呼びかけによって、その飲料のファンの人達も責任を持った行動をしてくれるようにならないかと思って考えました。
62	プラスチックごみリサイクルのポイント制。それも個人ではなく、日本全体でポイントを集約して福祉車両寄付などにつながるシステム。
63	プラスチックの材料価格を上げて上げた分を税として徴収する。
64	プラスチックを集めると地元で使えるポイントになり綺麗になり市も活性
65	プラスチックの回収を義務付けること
66	プラスチックリサイクル製品の消費税を無くす
67	法律でゴミを出さないように制度化
68	プラスチックボトルを地域の通貨にする。
69	リサイクルボックスに報奨金が出るようにする
70	海洋不法投棄に関する国際法の整備強化。グローバルな理解促進と啓蒙活動 e t c ・
71	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製造業者（業界団体）へのペナルティー</li> <li>・プラスチック回収報奨金制度（回収従量ポイント還元。例. 海の家利用権）</li> <li>・釣り人、海水浴客等からの入場料・保証金等の徴収</li> <li>・災害復興税の如く所得税や法人税から仮称「海洋環境保護改善特別税」（例. 税額に対し率0.00053%・ゴミゼロ）を徴収、国民への啓蒙とプラスチック問題対策費予算とする</li> </ul>